

備前市事務事業評価表

事務事業名	シルバー人材センター補助事業			コード	02-01-04-12
				担当課・係	福祉事務所 高齢者福祉係
				担当者	角南文子
				電話	64-1827
事業実施期間					
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目(施策)	高齢者福祉			

事業について	
目的 (何のために)	シルバー人材センター事業運営に対して補助金を交付する。
対象 (誰・何を対象に)	高齢者で臨時的かつ短期的な就業を通じて自己の労働能力を活用し、それによって自らの生きがいの充実や社会参加等を希望する市民のため。
内容	シルバー人材センターがシルバーセンター運営のため補助金を交付する。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
会員数	167 人	186 人	
補助金等	6,275,000 円	12,000,000 円	
就業延人員	8,683 人	8,924 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	6,305	国庫補助金等	直接事業費	12,050	国庫補助金等	直接事業費	
	人件費	3,630	委託費負担	人件費	2,560	委託費負担	人件費	
	合計	9,935	市債 一般財源等	合計	14,610	市債 一般財源等	合計	0

必要人員	0.40 人	0.25 人	
結果指標	結果指標名	会員数	会員数
	結果指標量	167	186
	単位	人	人
	対前年比	-	111.38%
	活動にかかるコスト	9,935,000 円	14,610,000 円
	単位当たりコスト	59,491 円	78,548 円
結果指標	結果指標名	就業延人員	就業延人員
	結果指標量	8,683	8,924
	単位	人	人
	対前年比	-	102.78%
	活動にかかるコスト	9,935,000 円	14,610,000 円
	単位当たりコスト	1,144 円	1,637 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	会員の就業の機会が増え、生きがいの充実と社会貢献度の向上		
成果指標名	就業延人員	式又は説明	就業延人員
	17年度	18年度	
成果指標量	8,683	8,924	
対前年比	-	102.78%	0.00%
到達目標値	9,000	到達目標年度	19

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： <input type="checkbox"/> )
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
	妥当性評価<A~E>	B

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 法人設立後1年を経過し、補助金は国の補助額と同額となる額を補助し2,440千円を削減している。	
目標値	結果指標量	190	結果指標量	9,000
	成果指標量	9,000		

総合評価	法人設立後、未設置であった吉永地区の加入促進、事業拡大も進み、受注に対応できる体制も整備できつつある。全地域住民からのニーズは増大しており、益々、高齢者の就業機会の拡大を図っていく必要がある。	評価区分 <A~E>	B
------	--	---------------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	団塊の世代の退職者の加入促進	20年度~22年度	高齢者の社会参加を促進することにより、生きがいのある健康な高齢者が増える。